

孕み侍 13

~夜通し師匠の怒張を受け入れ中出し悦楽~

格闘王国







どれ：
診てやろう

ふうむ
その役人
相当無茶を
した様だの：



幸い裂けたりは
しておらぬが

擦り傷、あざが
酷いわ：



あつ先生
何を…っ

そこは
不浄の：

気にするな

薬剤を浸透
しやすくする為
ふやかすだけじゃ



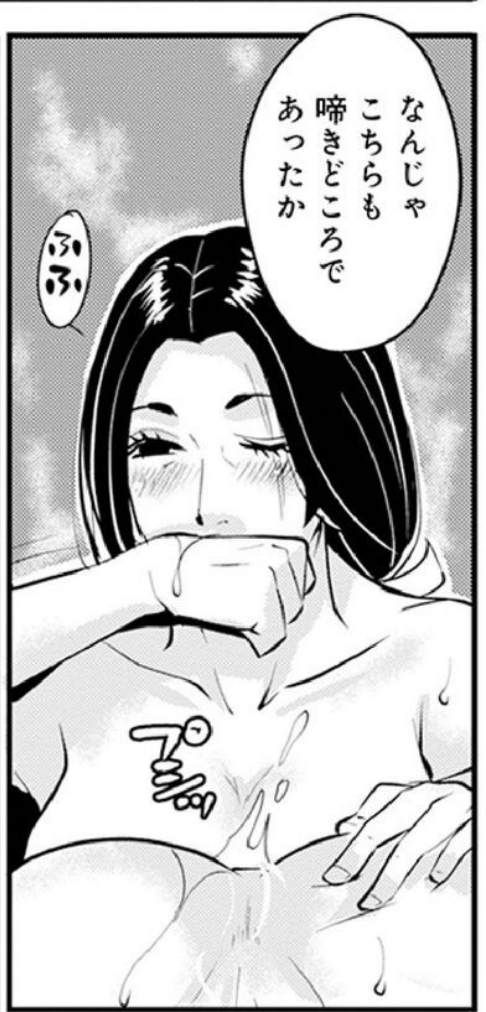
はううつ

ガッ

ヒッ



おかげで
よき塩梅に
ふやけてきておる



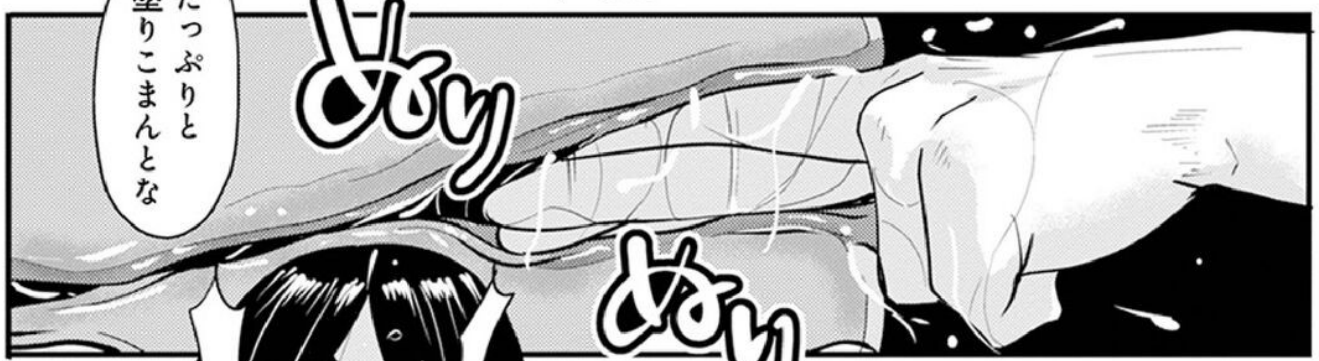
なんじゃ
こちらも
啼きどころで
あったか

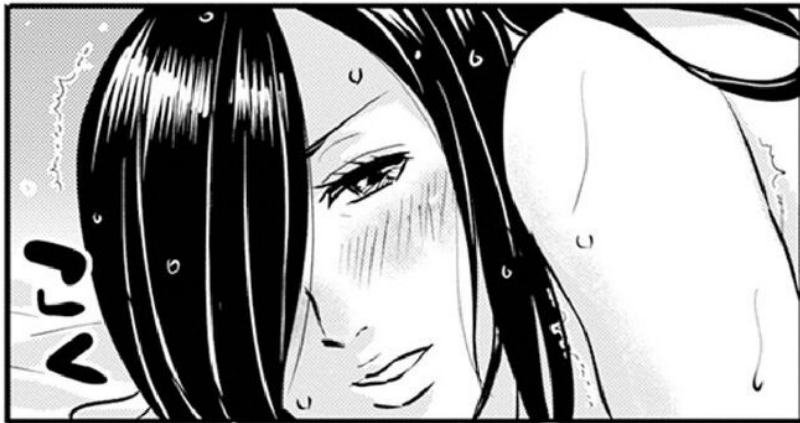
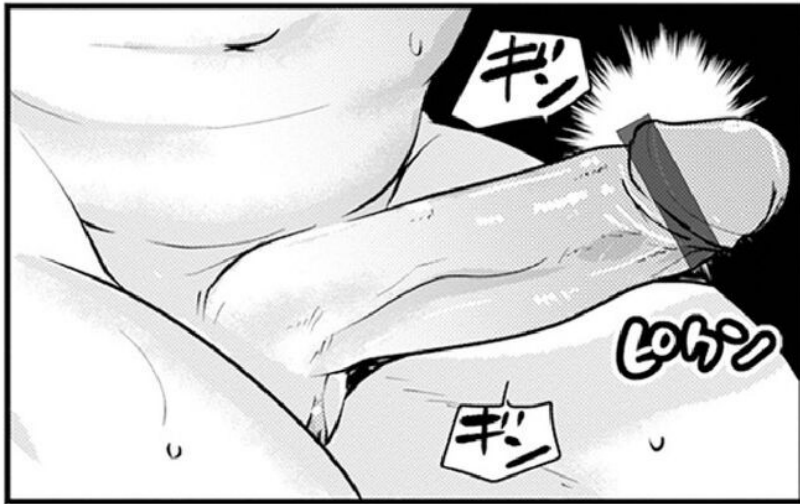
ふふ





たつぷりと
塗りこまんな







初めて
兼続さまに
お会いしたのは



サツキよ…
つまらぬ昔話じゃが
聞いてくれるか…

もちろんです



この体ゆえ
両親からも厄介
扱いだった私は
刀鍛冶の祖父に
預けられ

下働きなどを
しておった…

そんな折
祖父の刀を取りに
来たのがまだ若君だった
兼続さままでな



父より
うかがって
おりました

柔らかい
物腰の中に
見える豪胆さと
屈強さ

その…
一目惚れであった

ああ、丹江の
若様じゃな

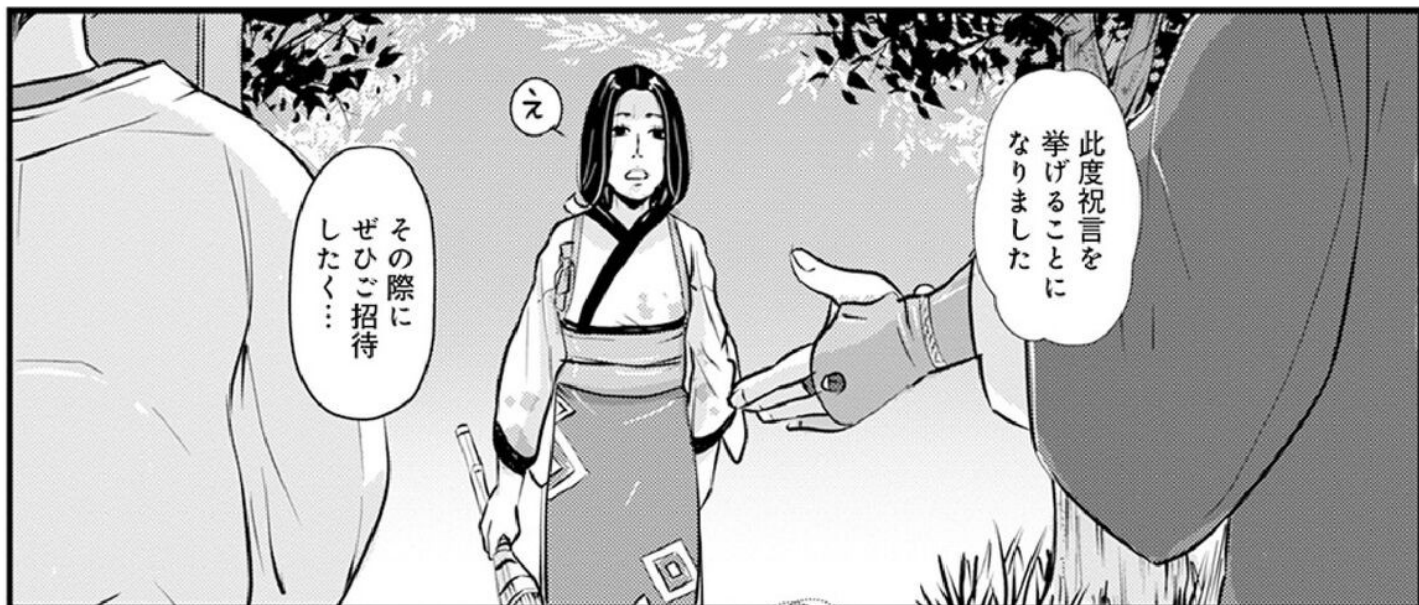


以来兼続さまは
よくよく参られて
言葉を交わした
ものであった

さりとして
どうすることも
できず、時は
流れ…



その時ほど
自分におなごを
感じた時は
なかったな…





拙者の刀は
打てぬだとおつ



刀の扱いも
知らぬ者に私の
作を使いこなすは
無理なのじゃ…

なにが刀匠だっ
おなごのくせに
生意気なっ

7



…あの日まではな



全てを失った私は
生きる気力も
果ててしまうた…



御免下さい
先生は御在宅ですかっ

そんな時であった
サツキ：お主が
やってきたのは：



おなごとしての
幸せは叶わなかったが
母親の真似事を
させてもらえたのでな

しかも
それが



うれしかった…
本当に救われたのだ



サツキ
お主はなんと
何という…



先生

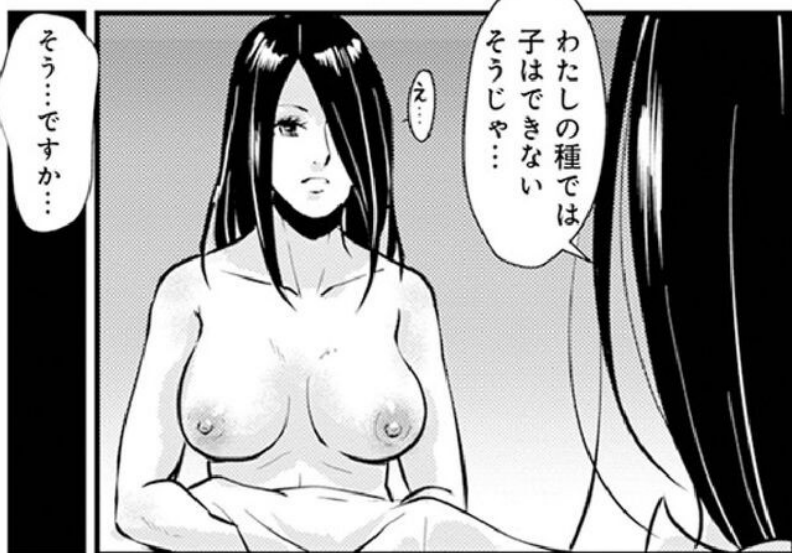
先生



サツキいつ

ジュッ

ジュッ



そう…ですか…

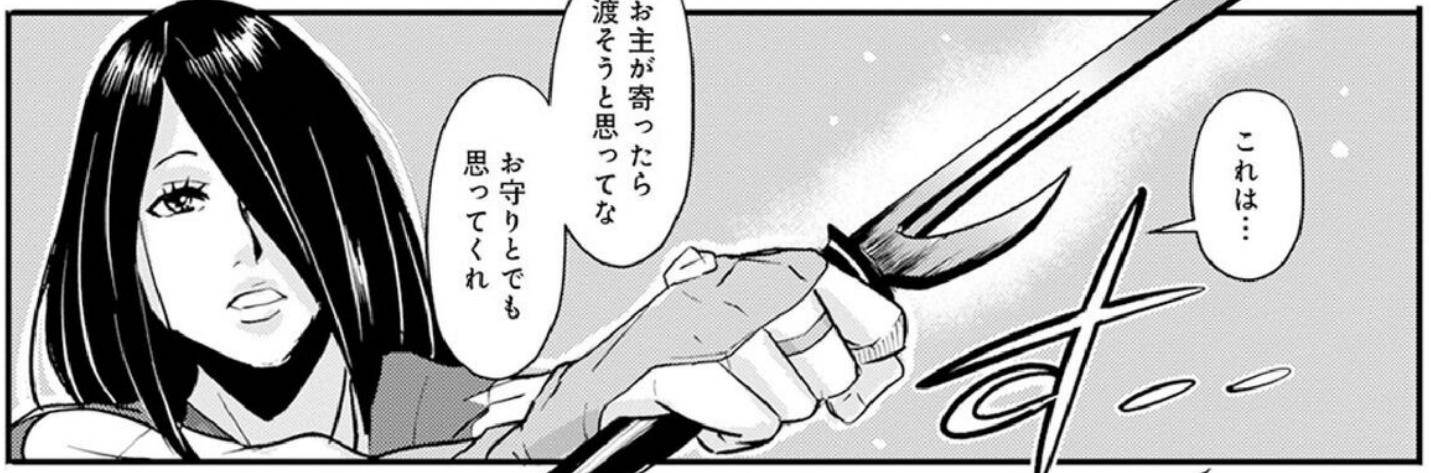
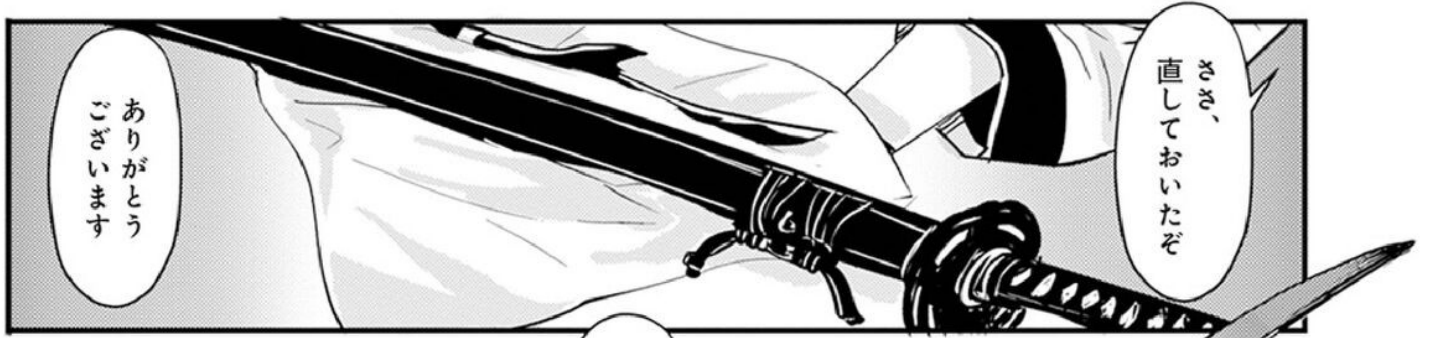
え…

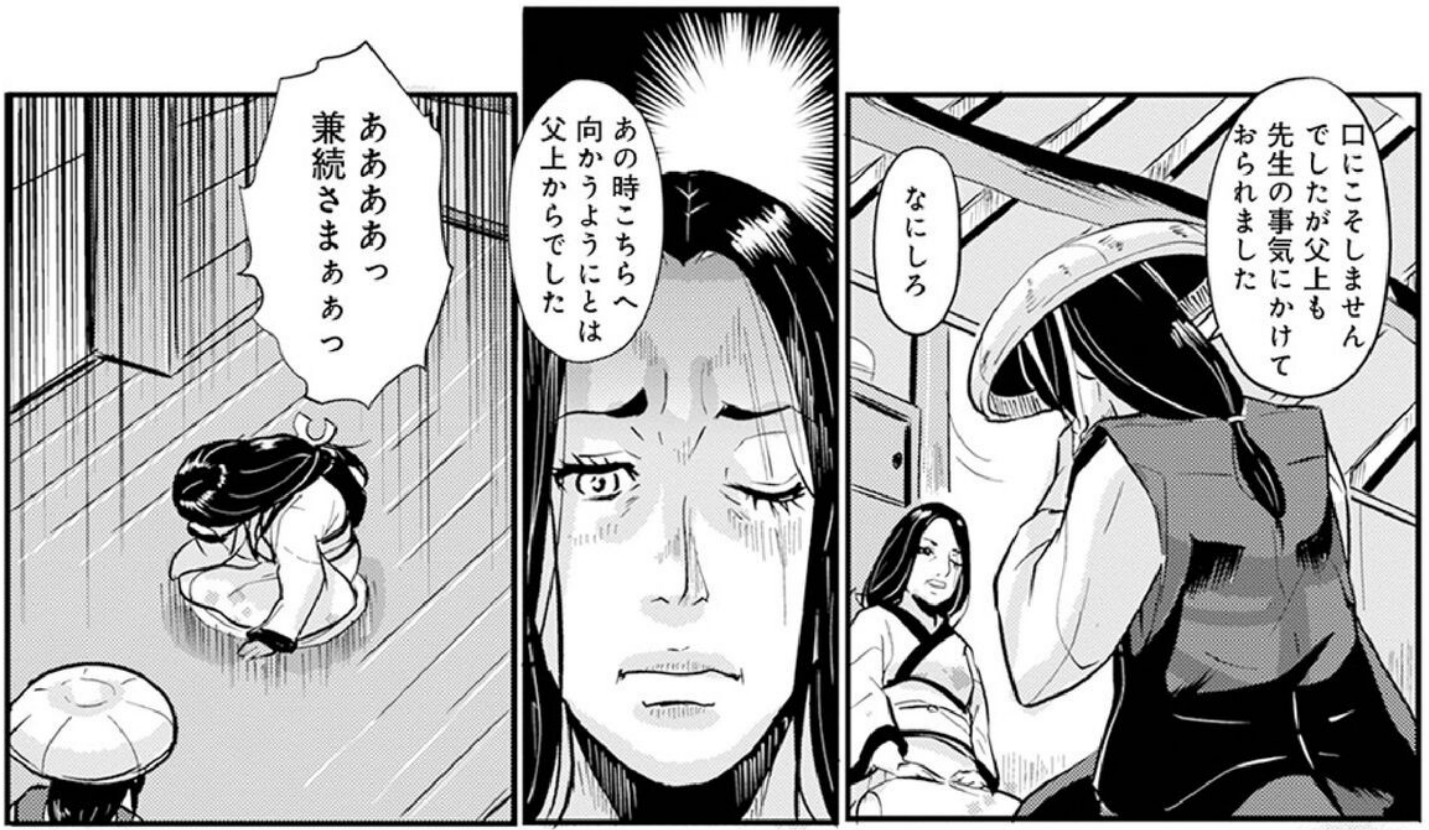
わたしの種では
子
は
で
き
な
い
そ
う
じ
ゃ…



サツキ…
あ
り
が
と
う

だ
が
な…





ああああっ
兼続さまああっ

あの時こちらへ
向かうようにとは
父上からでした

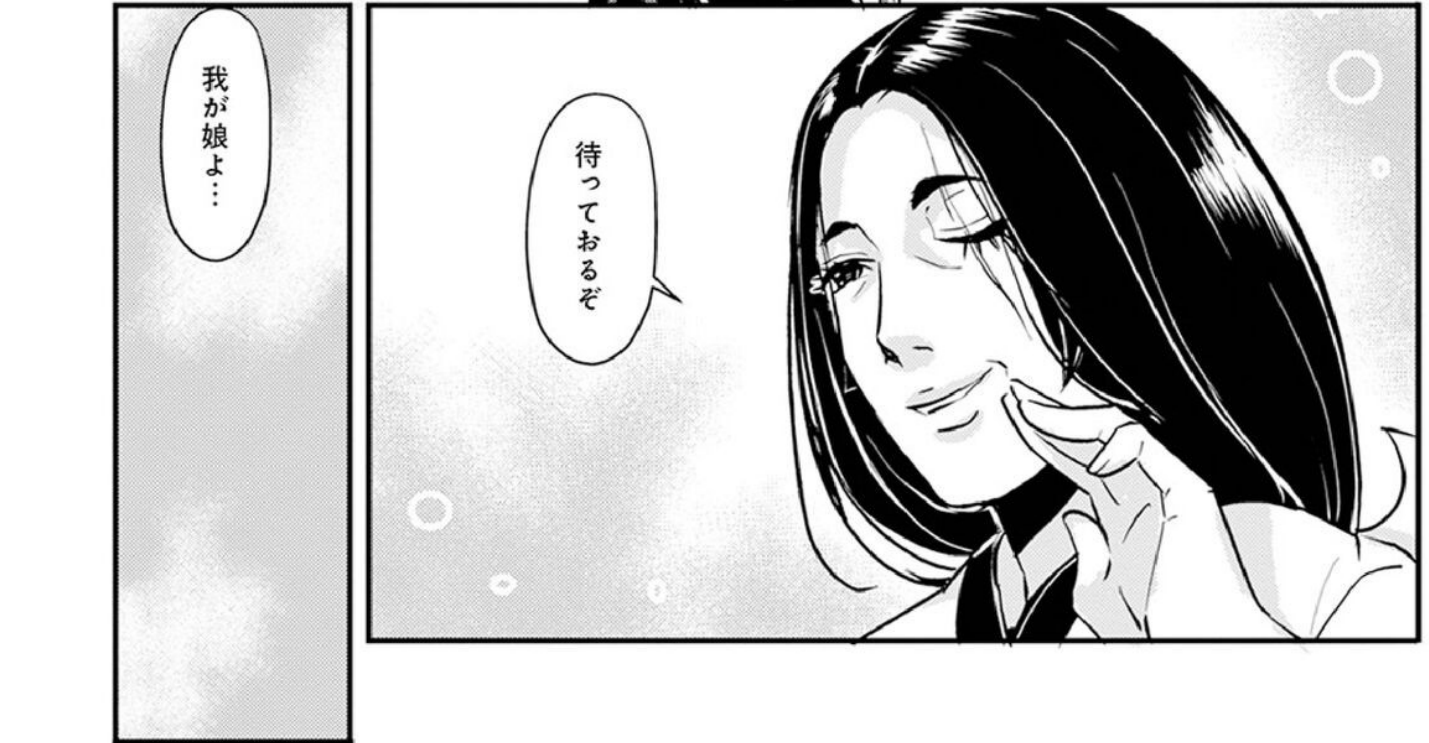
なにしろ

口にこそしませんが
でしたが父上も
先生の事気にかけて
おられました



次には
お主の子と
来てくれ…

サツキ…
ほんに優しい娘じゃ



我が娘よ…

待っておるぞ

